



— (宝永四年) 一七〇七 貝原益軒書 —

岡田宮

岡田宮夏越祭 ごあんない

第 51 号
 平成23年7月吉日
 発行 岡田宮社務所
 北九州市八幡西区岡田町1番1号
 郵便番号 806-0033
 電話 (093) 621-1898
 FAX (093) 621-5330
 URL <http://www.okadagu.jp/>
 E-mail okadajinja@jcom.home.ne.jp

目次

夏越祭ごあんない	1
総代会研修旅行(下関市長府)	2
郷土地名考 ⑤1	3
神社なげなげ問答 ⑤1	3
七五三	4
巫女奉仕者募集	4

平成二十三年七月二十九日(金) 午後六時~九時 (雨天決行)

社頭に設けた茅の輪をくぐれば、悪疫を免れ幸福と繁栄を招来するという古式に則った夏越祭を厳修いたします。

大祓神事 午後六時より

どなたでも参加できます。

参列の方には大祓詞をさしあげます。ふるってご参加ください。

当日ご参拝の方に

■「お札」と「茅」を授与いたします。

魔除けとして玄関に奉斎して下さい。

■無病息災・除災招福御神酒接待

ご参拝の方に御神酒をご奉仕いたします。

■総当たり福引き・かき氷

地元青年会の屋台がたちます。

いづれも一回100円

無料券

当日この券をご持参ください
かき氷が無料になります。



総代会研修旅行より

長門国 一之宮住吉神社参拝と下関長府散策の旅

三月二日、今回は、九州を飛び出し、本州の西の端、下関市は長府の旅です。古くは神功皇后ゆかりの地で、長門国の国府がおかれしました。

住吉神社では、会長以下参加者全員、昇殿し、正式参拝。その後、宝物館や、境内各所を案内して頂き、御祭神の神功皇后の側近、武内宿根の手植の大楠の祠など、パワースポットを見学しました。昼食後、長府藩主別邸だった毛利庭園や、高杉晋作奇兵隊旗上げの地、功山寺を見学、城下町の趣の残る町並みを、しばしのお散歩です。

今回は、好天に恵まれ、明るい早春の光を浴びる中、有意義な研修旅行が出来ました。暖かくおもてなしいただきました住吉神社の皆様には、心より感謝申し上げます。



住吉神社にて



武内宿根手植の大楠



功山寺山門

郷土地名考 51

小倉

なぜ小倉なのか。諸説紛々だ。ひとつは屯倉みやげ説。屯倉は古代天皇家に対する貢納の倉庫であるが、小さな倉があったからというわけである。これが一番有力とされているのであるが、そうすると小倉の中心部は穀倉地帯でなければならぬ。しかし屯倉にともなう条理制遺構はまだ発見されていないし、小さな倉が小倉というのはいくらもこじつけだ。

もうひとつは、古語でクラは谷を意味しており、古代往還であった高浜あたりから見ると、小さな谷に見えたのではないかというのである。地理的印象として高浜から眺めれば、東に足立山塊、西に向かつて貫、福智山系、帆柱山系が圍繞する一帯は峡谷というには広すぎるくらいだ。決して小さな谷ではない。

三つめは、万葉集に出て来る企救の高浜は漁村で、そこに漁網を収納する倉庫があった。それが小さな倉だったから小倉というのである。この解釈も苦しい。

四番目は、「企救の浦」がキクノウラ、コクノウラ、コクウラとなりコクラになったという。この説はかなり説得力がある。

さらに五番目は、地名移動の高句麗説だ。太宰管内志、小倉の項で外国伝にいうとして「西に行きて豊前となす。横五百里、直四百里、その奥を可苦刺となす。可苦刺は今の小倉なり」としている。可苦刺は高句麗なのである。コクリがコクラと、とても簡単だ。北九州市内には百濟、高麗、新羅、秦など渡来地名が転訛したと思われるものが少なくない。小倉の古い俗語で、子供をおどかすのに「早よう寝らんとコクリ、モグリが来るぞ」というのがあった。コクリ、モグリは高句麗、蒙古（モンゴル）である。コクリコクラはそれなり分かり易い。

神社 なぜ 問答

(その51)

稚児行列について 教えて下さい。

稚児は、神社の祭祀において重要な役割を果たしてきました。神道では、神が稚児の姿をかりて出現するという信仰があり、これに基づき、七歳から十二歳くらいまでの男女の童子が、神の依代（よりしろ）として祭りの際に選ばれて、稚児舞と称せられる舞いをしたり、化粧をして美しく着飾り祭りの行列に加わったりするなど、神事に関する奉仕をおこなってきました。

古くは、伊勢の神宮をはじめ、賀茂・鹿島・香取などの神社において、物忌（ものいみ）と称する童男（どうなん）・童女（どうじよ）が禁忌を守り、専ら神事のみ奉仕する役目を果たしており、また、諏訪大社では大祝（おおはふり）という職の童男が神そのものであるとして、人々から崇敬されていました。

現在でも、伊勢の神宮では御遷宮に関わる諸祭において、童男・童女が奉仕しています。また、八坂神社の祇園祭においては、山鉾巡幸の際、稚児が長刀鉾に乗り、巡幸の開始に

注連縄を剣で切り落とすという役割を担っています。

この稚児は、氏子の中から家庭・資質・健康などを考慮して選ばれ、祭りの前に騎馬で社参し、以後、祭りの日まで自宅に籠り、心身ともに清浄に心掛ける齋戒が課せられます。こうしたことは、童子が大人より神に近い清浄なる存在として、祭礼奉仕にいかにも重い役割を果たしているかを窺わせます。

これは、祭礼において親に伴われて参加する稚児舞や、稚児行列の場合も基本的には同様の意味であり、また、祭りを華やかに奉仕するという意味もあります。一所懸命に奉仕する愛くるしい稚児の姿には、御神慮も和むのではないのでしょうか。



七五三

七五三祭は、子供の成長にともない節目々々に神社にお参りして、いつそこの息災成長を祈る行事です。

三歳の男子女子の祝いを髪置、五歳の男子の祝いを袴着、七歳の女子の祝いを帯解きなどと称しますが、これらの名称や、その年齢は地方により、時代によって必ずしも一定しません。ともあれ、七五三は江戸時代から、広く行われた行事で岡田宮では、十一月十五日を当日とし、その前後を通じてにぎやかなお参りが行われます。

なお、平成二十三年の七五三の年齢は、左記のとおりです。ので、ご家族おそろいでお参り下さい。

記

- 三歳 平成二十二年生 (かぞえ齢) 平成二十二年生 (満年齢)
 - 五歳 平成十九年生 (かぞえ齢) 平成十九年生 (満年齢)
 - 七歳 平成十七年生 (かぞえ齢) 平成十七年生 (満年齢)
- ※年齢はかぞえ年でも、満年齢でもかまいません。
※毎日午前九時より午後四時半まで受付をしています。



巫女奉仕者募集

大神様のお側近くで巫女として仕え、結婚式やお神札やお守りをお授けする女性奉仕者を募集しています。神様に仕える重要なお務めであり、貴重な体験になるかと思えます。

ご希望の方は神社社務所

電話 621-1898

までお問い合わせ下さい。

奉仕資格 高校生以上

未婚の方

※書類審査・面接が有ります。



できれば髪の長い方希望
茶髪不可

宮参り・七五三・入園・入学など

(お子様の衣装・着付け・ヘアメイク無料)

レンタルお出かけ衣装

1着 ￥3,150～ (お子様に限りません)

撮影料金

四切	1ポーズ	1枚	……	¥10,500
四切	2ポーズ	2枚	……	¥16,800
四切	3ポーズ	3枚	……	¥23,100

有川写真館

カラースタジオ (本店)

八幡西区岡田町1-44-3F TEL 0120-62-2080
本店を黒崎鎮守の森 岡田宮鳥居横 尾畑ビル3階に
リニューアルオープンいたしました

岡田宮スタジオ (境内)

0120-620-753

神社挙式プラン

(挙式料・衣装・写真3ポーズ2冊) 200,000円